

■ 検討経過

○都市計画審議会 (H29. 2. 20)
・報告「都市計画公園のあり方について」

○第1回常務委員会 (H29. 9. 27)
・公園緑地に関する計画と現状
・公園緑地を取り巻く環境の変化
・府営公園の現状

○第1回部会 (H29. 11. 20)
・府営公園の意義
・大阪府公園基本構想の目標と府の取組み
・府営公園に対するニーズ

○第2回部会 (H29. 12. 18)
・府営公園の課題
・基本方針・基本理念
・中間報告(素案)

○第2回常務委員会 (H30. 1. 29)
・中間報告(案)

○都市計画審議会 (H30. 2. 9)
・中間報告

I. 公園緑地の現状と課題

1. 公園緑地を取り巻く環境の変化

- 人口減少・少子高齢化の進展
- 地域コミュニティの衰退
- みどりに対する意識の高まり
- 都市環境の悪化
- 自然災害発生リスクの高まり
- 投資余力の減少
- 外国人旅行者数の増加
- 等

2. 公園緑地に関する計画等

(1)平成5年11月 大阪府公園基本構想

基本理念

- ・都市の中の公園から、「みどり」の中の都市へ
- ・心と体をはぐくむ公園をめざして
- ・時を超えて生きる公園をめざして

基本方針

- ・点・線・面の「みどり」のまちづくりをすすめる
- ・大都市地域に自然的大空間をつくる
- ・豊かな生活をはぐくむ公園をつくる
- ・それぞれ個性を持った魅力的な公園をつくる
- ・暮らしに息づく公園をはぐくむ
- ・「みどり」行政の総合化をめざす

基本計画

- ・大阪エコ・ネットワーク計画
- ・府営公園配置計画
- ・府営公園整備計画
- ・府営公園新管理・運営計画
- ・「みどり」行政の総合化に向けて

(2)平成21年12月 みどりの大阪推進計画

計画期間:2025年まで

目標

- ・緑地を府域の4割以上確保
- ・市街化区域の緑被率40%以上
- ・みどりがあると感じる府民の割合 5割→8割
- ・最近みどりに触れた府民の割合 5割→8割

みどりの効果と役割分担

【存在効果】

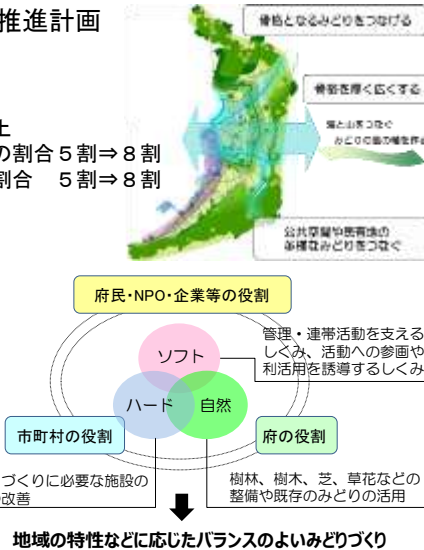
- ・都市環境の保全、改善
- ・都市景観の形成
- ・水源かん養や生物多様性の確保
- ・防災機能の向上

【利用効果】

- ・スポーツ・レクリエーション
- ・やすらぎ・憩い

【媒体効果】

- ・商業、観光・交流・福祉・教育、文化・安心



(3)平成28年2月 都市計画のあり方(答申)

都市づくりの基本目標

- 国際競争に打ち勝つ強い大阪の形成**
国内外の人を呼び込む都市魅力の創造
・都市における実感できる豊かなみどりの形成
- 安全・安心で生き生きと暮らせる大阪の実現**
様々な自然災害に対し、減災の考え方に基づき、ハードとソフトを適切に組合せた都市の防災機能の強化
- 多様な魅力と風格のある大阪の創造**
地域資源を生かした質の高い都市づくりの推進
・水・みどり、歴史・文化を活かした、多様な人が訪れ、多様な世帯が住まう都市の形成

3層の都市構造のイメージ

- ①大阪都市圏の都市構造
- ②高次都市機能ネットワーク型の都市構造
- ③広域生活圏の都市構造



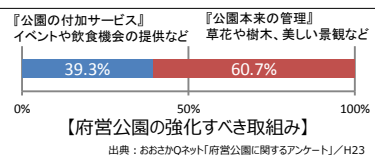
3. 公園緑地の現状

(1)公園緑地の現状

- 府域全体に占める緑地面積(施設緑地+地域制緑地)の割合 **40.9%**
- 一人当たり都市公園面積 **5.3㎡/人**(国+府+市町村)

(2)府営公園の現状

- 広域的な利用を目的に府域全体に配置
- 現在19府営公園、開設面積約995ha(万博記念公園約260ha除く)
- 府営公園の来園者数増加(約23百万人/年)
- 防災公園・戦略的な維持管理の推進
- 主な府民ニーズ



4. 府営公園の意義

公園名	設置目的
箕面・住吉・浜寺	景勝地の保全
住之江・二色の浜	機能代替地・スポーツレクリエーション
枚岡・長野	社寺・山林の保全
服部・久宝寺・大泉	都市の膨張抑制休養・厚生
山田池・錦織	自然環境の保全
寝屋川	広域のレクリエーション需要
深北	治水・多目的遊水地
石川河川	親水機能に対する要請
りんくう	埋立地の良好な環境と景観形成
蜻蛉池	自然環境の保全/レクリエーション需要
せんなん里海	里海の活用、保全、再生
泉佐野丘陵	事業跡地の有効活用

各公園の特性に応じて、様々な社会要請に対応
ニーズに合わせて整備・管理運営の内容を充実、発展

5. 府営公園の課題

- 公園毎に異なる特性(立地、設置目的、利用状況など)
- 公園の特性に応じて、各時代の社会的要請に対応

公園の特性に合ったみどりの効果を最大限発揮する

- 公園の本来機能の充実
(都市環境の保全、地域固有の景観の形成、自然生態の保全、憩い、スポーツ・レクリエーションなど)
- 地域まちづくりの課題改善に貢献
(子育て支援、高齢者の健康・医療・福祉、地域のにぎわいの創出、地域コミュニティの形成など)
- 災害に強い都市づくりに貢献(防災機能の向上)
- 多様化・高度化するニーズへの柔軟な対応
- 公園の戦略的な維持管理運営と財源確保

II. 基本理念

計画期間：概ね30年後を見据えた10年間

公園マネジメントを一層強化することにより、質の向上を図り、大阪の都市魅力の向上と府民の安全・安心を支える。

- ① <<都市魅力>>
大阪の魅力を高める公園
- ② <<府民生活>>
府民の豊かな生活を育む公園
- ③ <<安全安心>>
府民の安全、安心を支える公園
- ④ <<都市環境>>
都市の貴重な自然環境を次世代につなぐ公園

III. 基本方針

- ① 公園の特性に応じて、都市・まちづくりの課題改善に積極的に活用
- ② 公園毎の特色を活かし育み、個性豊かで魅力的な公園づくりを推進
- ③ 公園の特性に応じて、より多くの府民に利用され、地域の活性化に貢献できるよう、にぎわいを創出
- ④ 防災公園の整備推進
- ⑤ 誰もが安全・安心・快適に利用できるようユニバーサルデザインを推進
- ⑥ 公園の自然環境を実感できるよう、自然の保全とふれあう機会を創出

IV. 施策の方向性

今後の取組例

- ① 質の高い樹木管理により公園本来の魅力を向上
- ② 防災公園の機能拡張に優先的に取組む
- ③ 積極的に民間活力を導入し、施設の新設、更新、有効活用を促進
- ④ ニーズや利用状況に応じた施設の整備、柔軟な改変（仮設の施設の設置、コンバージョン等）
- ⑤ 情報発信の強化、多言語化の対応、バリアフリーの推進
- ⑥ 老朽化した施設を計画的に更新・再生・再編し、府民の安全・安心を確保
- ⑦ 公園の管理運営を担う人材を育成するとともに、多様な主体の参画を促進

V. 実現に向けた取組

今後の取組例

- 府営公園の整備・管理・運営の基本的な指針となる「マスタープラン」を策定。
- 併せて、全ての府営公園において「マスタープラン」に沿った取組みが実践されるよう、公園毎の条件や個性にあった整備・管理・運営のための方針「マネジメントプラン」を策定。
- 公園の特性に応じた適切な成果指標を設定し、PDCAサイクルを着実に実施。
- 公園審議会の設置など公共性を担保できる仕組みを構築。